

平成27年度第3回松山地域協議会会議録

日 時 平成27年10月30日(金) 午後1時30分～時分
場 所 松嶺コミュニティセンター講堂
出席委員 15名
1号委員 平 向 與志雄、五十嵐 典 子、齋 藤 吉 男、日下部 美喜子、
後 藤 吉 史、小 松 ノリ子、三 浦 芳 和、佐 藤 玲 子、
小 田 和 夫、荘 司 邦、村 山 安 子、佐 藤 豊 和
後 藤 俊
2号委員 小 野 與 一
3号委員 日 野 健 吾
欠 席 委 員 なし
酒田市出席者 地域振興調整監 永 田 齊
商工港湾課長 田 中 愛 久
松山総合支所長兼地域振興課長
樋 渡 由
建設産業課長 石 塚 裕
地域振興課長補佐兼市民係長
柿 崎 弘 志
地域振興課長補佐兼地域振興係長
佐 藤 均
地域振興課主査 石 川 亮 一
傍 聴 者 なし

【議事日程】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事録署名委員の選出

4 議 事

【報告事項】 ・デマンドタクシーの見直しについて

【協議事項】 ・過疎地域自立促進市町村計画（過疎計画）の策定について
・新市建設計画の変更（計画期間延長）について

【報告事項】 ・平成28年度予算要求内容について

5 そ の 他

6 閉 会

1 開 会

支 所 長 只今から平成27年度第3回松山地域協議会を開催いたします。本日は、委員の皆さん全員が出席されております。本日の会議につきましては、概ね1時間30分を目途としておりますのでよろしくお願いいたします。それでは小田会長より挨拶をお願いいたします。

2 会長あいさつ

小 田 会 長 こんにちは。大変寒い中お集まり頂きましてありがとうございます。第3回の地域協議会ではありますが、これまでの内容にさらに詰めた話しが出ると思いますので闊達なご意見を頂戴したいと考えております。それでは、只今から開催いたします。よろしくお願い申し上げます。

支 所 長 有難うございました。

3 議事録署名委員の選出

支 所 長 議事録署名委員につきましては、酒田市地域協議会設置条例施行規則第5条第2項及び申し合わせ事項により、三浦 芳和委員をお願いいたします。会議の議長につきましては、酒田市地域協議会設置条例第6条第2項により、小田会長をお願いいたします。

4 議 事

【報告事項】

・デマンドタクシーの見直しについて

小 田 会 長 初めに、報告事項について「デマンドタクシーの見直しについて」商工港湾課より報告願います。

商工港湾課長 ～資料に基づき説明～

小 田 会 長 有難うございました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から、質問等はありませんか。小野委員発言をお願いします。

小 野 委 員 前回、交通網につきまして、酒田市の他地区の事例等も申し上げたところ、次回の地域協議会の中でお答えをするという事で私も期待して来ました。デマンド見直しと言う様な事で、八幡地区は、前回と言い方がダブるかも知れませんが、本当は、酒田市はデマンドにしましょうという事であり、松山は真面目にデマンドにしました。他の地区はやっていません。今、八幡を見たらぐるっとバスが大沢を回って、升田を回って、観音寺を回ってもう一か所あります。4コース回っています。買い物をしたり、医療を受けたり、子どもの送り迎えをしたりという事で利用しています。当初、デマンドというのは、自宅から行けるという事で、利便性があると思ったのですが、前回話し

たように、日本海総合病院も先端の医療をするという事で、ちょっとした医療は地域でという声もありましたので、その道が閉ざされてしまう。松山地区自体にも、診療所の充実を考えた時にも、管内の移動すら十分ではない訳です。デマンド交通網が酒田市の方針でした。松山地区は真面目にやった。しかし八幡地区は従来通りぐるっとバス、前回の資料を見たらぐるっとバスは継続になっています。地区の中で交通網が整備されて、酒田市が目指す住民が安心して暮らせるという事例になった。松山は色々な課題があって利用が少ないからという論法にはならないと思います。非常に残念です。むしろ余目までは医療だけなら送りますよと、北庄内の行政区は分かれています。連携して行きましょうということもありますので、もう少しデマンドを発展的にしてもらって、我々の足となって行くことを期待していたのです。例えば私は荒興野です。荒興野から南部地区の白ヶ沢までぐるぐる回るバス。松山にも来られるバス、内郷も回るバス、山寺も回るバスと言うのが八幡地区では構築されている訳です。私の持論ですが、デマンドをもう少し住民が利用しやすいように改善する、利用が少ないから廃止という論法は非常に残念です。二次交通網を充実させていかないと困ります。

商工港湾課長 今のご意見、色々あった訳ですけれども、全体的なお話、資料を手元に持って来ていなかったので大変申し訳ないのですが、各地区で、八幡の件と松山の件と平田の件もある訳ですけれども、デマンドの良い例を挙げますと酒田市内にも行ける。ぐるっとバスは管内しか行けない状況。最終的に本楯・上田地区もデマンドタクシーを完成した時点で一応二次交通圏、デマンドタクシーが完成したと考えております。利用の面で言いますと、今回の松山地区の場合は、酒田までタクシーの様に行ける面が一つ利便性があります。八幡地区のぐるっとバスは利用もかなり減ってきているので、大きいバスをやめて小さい14人乗りのものに切り替えをしながら、地域と意見交換しながらやっておる状況でありますので、利便性を考えながら工夫をしている。最後に話があった余目には行けるような庄内余目病院には行けるよう出来ないのか、そのようなデマンドタクシーというのも北部定住圏の中で検討はされると思いますが、さまざまな規制、今、松山観光さんの運行している区域等とか、自治法の規定で協定を結ばなければならないという面、市と町の費用の負担、酒田市だけが負担するのかという問題もあるので、総合的に考えていかないとすぐには難しい。逆に松山から余目の町中に走りますと他の地区、旧酒田・八幡・平田にも影響が出てきます。まったく新しい路線を走らせることになりますので、これらの点から少し総合的に考えていかなければならないのかなという方向で考えています。

地域振興調整官 補足をさせていただきます。私、去年まで商工港湾課長をしておりまして、

バスの担当をしていたのですが、バスのコースにつきましては、合併を機会に市内のるんるんバスを旧3町地区にも何とか走らせてくれないかというご要望がありまして、そういったルートを組んで運行させて頂いたのですが、今お話があった様に実際走らせてみますと、年々利用者の方が減って来てまして、1便当たり一人か二人しか乗らないという様な状況となっていて、空バス状態で走らせている様な状況の中で、財政的にも厳しいという事もあり、廃止する代わりにデマンドタクシーを少し効率的にというような交通手段としてやりましょうという事で切り替えて来た経緯がありました。3町地区に関して、基本的にはデマンドの運行はする予定は無かったのですが、松山地域との話し合いの中で、是非導入をさせてもらいたいというお話も有りまして、たまたま松山観光さんという事業者も有りまして、運行が可能だという事で取り組んで来たところであります。八幡のぐるっとバスは、八幡町時代からバスの運行やっています、それを今継続して運行させて頂いているのですが、これもスクールバスとの兼用とか、色々課題がある中で運行させて頂いた所なのですが、やはり利用人数が減少して来ている中で、今までの様な大型バスの運行は難しいという事で、今回老朽化を受けまして、更新する時に小さい形にさせて頂いて、現状では維持していこうという事でやらさせて頂いています。今回の日曜日の件も、実際利用者がいらっしやらないという中で、引き続きお金を掛けることに対しても、内部的にも色々指摘されている部分も有るので、何とか維持していく前提として、少し節約をしていきながらやって行きたいというのが現在の商工港湾課の考えで、今日皆さんにお願いに来たのだと思いますので、公共交通網を基本的に維持して行かなければならないと思っていますし、今お話があった余目病院の通院の件も、通院用の交通手段と言うことであれば可能なかどうか、その辺も要望頂いているので、庁内で色々可能かどうかということを検討させて頂きたいなと思っていますので、ご理解を頂ければと思います。

小野委員　ぐるっとバスの小型化は分かります。私どもはこれから高齢化社会になり、買い物難民・医療難民と言う事を考えた時に、松山の例でいくと荒興野から南部公民館に移動は何もないです。公共交通網も何も無いです。八幡だったら公民館に行く手段が、ぐるっとバスに乗れば行ける訳ですよ。そういう格差が、利用率は別にして確かに難しい話ですが、利用しなければ廃止して良いのかと言う話も有る訳ですし、福祉の面も有りますし、酒田市の丸山市長の所信表明を読んで、やはり住みやすい行政にして行くんだという点からすると政策が、ぐるっとバス・デマンドといった事を統括して、デマンドも良い点があるとしますのでそれを統括してさらに市民が利用しやすいように改善して行くのが課題ではないでしょうか。これだったら八幡地区町に住

んだ方が利便性があるという事です。例えば、私が免許なくなった場合八幡地区であれば、病院にも行ける買い物も出来る。また、公民館にも行ける訳です。こちらは病院にも行けないです。日本海総合病院にデマンドという交通は有るけれども、日本海総合病院では軽い病状では受け付けませんよというふうになっているでしょ。その辺の認識が私とずれている。

小田会長 医療関係は別にして、今の交通体系を見直す方向にきているのだという認識でご説明に上がったと思うのですが、私の知る範囲でも、例えば本楯から酒田市内今までのバスがデマンドに変わったと、そうすると免許を持っているお年寄りには良いのですが、なかなか利用しづらいという意見が有るんですね。だからどちらが良いとか悪いとかというよりも、どういう風に施策を効率化して行くか、松山の場合は今回見直す説明で有りますけれども、どういった方向性を考えているのか、出来ればその辺で総括して頂きたいと思います。

小野委員 単純に最初は、酒田市は、みんなデマンドにしますよという方向でした。八幡地区も平田地区もみんな地域の人から理解してもらいますよということでした。松山は先駆的に行政の方法でやったと認識しています。

地域振興調整監 そうではないです。それは誤解です。さっき申し上げた通り、ルートバスの利用が無くなって、バスの運行が大変になったものですから、もう少しコンパクトにしないと、あるいは別の交通手段に変えないとだめだと言う時に、色々検討してデマンドタクシーと言う制度が乗っかれたものですからそういうふうに回答したと言う事で、旧公民館地区の路線に関してそのような取り組みをした訳です。当時は、まだ庄内交通のバスも含めて3町地区に有ったものですから、3町地区については、その時点では導入することは考えていなかったのですが、地域からもデマンドという内容でやってもらいたいという話があったので、話し合いをして松山地区さんだけ導入させていただきますという形で、今やっています。これは受託をするタクシー協会との話し合いも有りますし、実際運行できるタクシーの問題も有りますので、現状として導入出来るのは松山地区だけなのです。会長さんから、先程、本楯・上田地区の話がありましたが、本楯・上田地区にも問題提起をして、話し合いをして、地域からは是非やってくれという話を受けて導入をしました。やはり予約の仕方が面倒くさいというお話も有りますが、非常に便利になってということもありました。私どもはそういう認識でありましたので、利用される方は、バスも利用していましたし、そういう方にとってはデマンドというのは非常に便利になったんだと思います。実際は他の方は、今のところ自家用車も発達してしまっていて、利用者数が年々少なくなって来ている実態が有りますので、行政としても決められた財政が縮んでいく中で、やり繰りをしなければならないので、その辺をご理解・ご協力を頂いて、そういう形に切り替

えてもらっている訳なので、今回、日曜日の運行を機会が無くなるというのは、心理的に不安な部分はたくさん有ろうかと思いますが、3年間利用が無かったという事実も有りますので、一応そういうふうに取り組みさせて頂きまして、不都合があるという事があれば、また相談をさせていただきながら、切りかえるという事も出来なくは有りませんので、一度そのように取り組みさせて頂ければと思います。

小野委員 ぐるっとバスによる交通網の整備はできないでしょうか。八幡地区の現体制が地域活性化に貢献していると思うからです。

地域振興調整監 先程も有りましたが、ぐるっとバスは町の時代からやって来ていて、縮小しながら継続を今やって来ている。新たに松山地域でバスをやるというのは大変なのです。

商工港湾課長 もう少し言いますと、鶴岡の市内では、地域の皆さんが運行するバスと、デマンドが有るのです。地域が運行する。皆さま地域協議会でも良いです。皆さんが運行して、市が補助をするという制度は有ります。皆さんが盛り上げて、運行を利用しようという事になるような、今だとみんな市がやっていますので。

皆さんデマンド乗ったことは有りますか。（全くない模様）

小野委員 私、山寺コミセンに行こうとしたら駄目だと言われました。地区の集まりがあっても、指定された場所でないと駄目という事でした。

商工港湾課長 そういう様な地域が運営様なバスやデマンド交通は広がっています。例で言いますと、鶴岡の羽黒地域これは、15人乗りのワゴン車を地域の協議会が運行しています。当然皆さんが出資と言うか、お金を出し合ってそこに市が補助する2割～3割、大変厳しいとは聞いていますけれども、そのような形でやっているところはかなり増えています。

小松委員 人口対策とか保障とかも大きな事故が起きても。

商工港湾課長 保険とかも入ってやっています。あとは、藤島東栄地区でしょうかね。デマンド運営協議会とかという形で、市営ではなくて地域でというのが併設されている。そういった事を知って頂ければと思います。

地域振興調整監 特に中山間地域で暮らしを維持していくための公共交通網と言うのは、非常に重要だとは考えています。維持して行く上で、バスと言うのは少し不経済だと、そういう面でデマンドをうまく活用出来るとか、あるいはデマンドでは無くても、福祉用の交通手段を考えるということも、我々としても考えて行かなければならないと思っていますので、今のところは、こういう状況でいっているのですが、非常に大きい課題だという認識は有りますので、時間をかけて庁内で話し合いを関係課で決めていかなければならないという認識は有りますので、その中で皆さんと意見交換をさせて頂ければと思うの

ですけれども。今日はそういったご意見・ご要望と言う事で承りました。

小田会長 デマンド利用の場合は、一度利用すると便利だという意見は有るのです。食わず嫌いというか、最初抵抗が有ります。

商工港湾課長 お年寄りの方は、登録して乗る際に自分で予約の電話しなければならないという事がおっくうだという意見はよく頂戴しておりますね。

小田会長 良いという利用者の意見も有りますので、一概にこちらが良いとか悪いとかいう内容では無くて、今説明を受けた内容で住民にいかに関心をお知らせするか、この辺をきちんとして頂いて、この件に関してご意見ご質問が有る方はいませんか。無ければ今の説明を理解したものと言う事で、次に進みますのでよろしいですか。それでは、次に過疎計画、過疎地域自立促進市町村計画通称過疎計画の策定について議題にいたします。

地域振興調整監 ～資料に基づき説明～

建設産業課長 ～資料に基づき説明～

支所長 ～資料に基づき説明～

地域振興調整監 説明は以上でございますけれども、資料の中身に対しましての質問でも結構ですし、ご意見ご要望でもなんでも結構ですので忌憚のない意見を頂戴出来れば大変有難いと思います。是非、松山地域の振興のために、こういうものもあってもよいのではないかなというようなご意見を頂戴出来れば大変有難いと思いますので、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。なお、質問に対してのお答え出来るものも有りますが、ご要望については承って最初にご説明したとおりにまた、この計画の作成の中で取り組めるかどうかという事を、持ち帰り検討させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

小田会長 後藤委員お願いします。

後藤(俊)委員 私から提案と言いますか、今ご説明頂いた地図を見ましても、歴史公園からずっと総光寺・里仁館・さんさんまで、この地区の観光施設・代表的な施設が一本のライン、道路で繋がっているというのは、この地域の強みではないのかなと考えております。もうひとつが、今松山中学校が未使用状態です。なお且つ、里仁館付近に松山中学校の体育館、里仁館の体育館、松山体育館グラウンド2つにゲートボール場こういう体育施設が、コンパクトなところにまとまって、土日祭日あたりは、スポ少等の行事で松山以外の方からも利用されている状況にあるようです。ゲートボールでは、日中高齢者の方が楽しんで、健康増進に大変効果があるのではないかとみているところですが、ここに合宿できる宿泊施設等をなにか一つ設けて、宿泊の出来るような施設が一つ有っても良いのかなと、日帰りでも帰ってもらっても中々面白くないという事も有りますし、あそこで寝泊まりしてもらって、合宿等をしてもらっ

て、またそういう事を行ってもらえば経済効果も出てくるのかなと、ゲートボール場にしても、良い所半年位の利用だと思います。これから雪が降って寒くなれば、なかなか外でやるのも辛いというふなことであれば、利用頻度が高いのであれば、そこに室内ゲートボール場等を作って、年間通してゲートボール等を楽しめるような施設を一つ設ければ、高齢者の方は、土日関係なく平日も使って頂けるであろうし、また、スポ少とかスポーツ関係の小中学生の団体で有れば、土日・祭日・夏休み等の利用頻度が高いので、バランスよく地域が、人が交流出来るようなエリアになるのではないかなと思っております。そのような施設を松山中学校の校舎がどうなるか分かりませんが、ああいう所を利用しながら、また、建て替え等も有るのかも知れませんが、そういうものが一つ有ると集客とか交流人口とかが増えて来るのではないかなと思います。コンパクトに、先程申し上げた様に、歴史公園も再整備されましたし、さんさんの事も車で10分以内でさんさんまで行けますので、宿泊・食事等もコンパクトにまとまって交流人口、ここに人が集まってくれば、お店とか出店等が出て来ると思いますので、賑わいとかの創造もかなり効果が有るのではないかなと思いますので、その辺のご検討というかお願いというか、私の意見です。よろしく申し上げます。

小田会長 ご意見として承っておきますか。日野委員お願いします。

日野委員 只今事業の中で、交通関係で段差の少ない町との事で言いました。私その辺に住んでいる住民の方たちに色々お話を聞きますと、新しく西の方に出来たのですが、伝承館の裏口その関係で、道路が非常に狭いので、裏側に曲がる時に、家の前です。北町に曲がる所の道路の石を、平らにするのだと思いますが、更地になって角地になっていますので、そこを丸くしてもらえれば伝承館の北の門から入るとずっと新しい伝承館の前を回って来る町外お客さんが結構いますので、角地を買収して頂いて、そこで生活する人たちが自由に交差出来るような、昔の狭い道では無くて大きい道にして頂ければ大変有難いという様な声をたくさん聞いております。そのことも計画の中に地域振興調整監から色々なアンケートや現場を見てそれがベターとなれば実行して頂きたい。それを丸山市長に伝えて頂ければ、大変ありがたいです。新しい能舞台がある所ぐるっと回って来る散歩コースがあるので、ぐるっと回ることも一つの歴史の町、お子さんが来ますので、酒田市の歴史文化の町づくりに組み込んで頂ければ大変有難いです。よろしく申し上げます。

小田会長 他に何か有りませんか。村山委員。

村山委員 事業の整備で、松山の宝推進事業ソフト事業が有りますが、内容が少し分からないのですが、この事業に該当するかどうか分かりませんが、旧松山町の特色と言うのは、何と言っても城下町であるという事だと思われま

その特殊性をすべく歴史公園の整備事業とか、城址館建設とかいわゆる箱ものに関して、あるいは道路整備について、行政サイドから整備して頂いて、大変幸運だったと旧町民の誰もが感謝していることと存じます。それにも関わらず時代の変化と言うのでしょうか、交通網の利便性の影響なのか、それとも少し高齢化が原因なのか不明ですが、隣の旧平田町や旧八幡町に比べて、あまりにも過疎化が著しくて町民が嘆いております。昔から松嶺町と称して、小中高等学校も整備され、病院も医者も数人常備していました。今その城下町らしさ、城下町らしいところが残っているのは、生菓子を作るお菓子屋さんが、現在3件残っているというのが、その名残だと思われます。手前味噌かも知れませんが、昔は他の隣接町よりも一番にぎやかな町でありました。ところが、今や過疎化が一番著しいです。何が不足しているのか、他力本願では衰退するばかりです。そこで町民自身の意識改革で、何とか歯止めをかけることが出来ないのだろうかとお感じいたします。城下町という長い伝統は、お金では買えない宝物でもありますので、他の生き残っている城下町、出来るだけ規模の松山と似ているような城下町を、城下町として生き残るには人口・世帯数・産業種類・商店数・公共施設など最低限どれだけが必要なのかという事を、全国的に調査する必要があるのではないのでしょうか。それを我々素人がしても仕方が有りませんので、専門の調査機関に依頼して分析して、その結果から町民の意識改革をすべきでないか、もはやそのような困窮した事態まで来ているように思われます。私、母校の高校の理事をしておりますので、年に4～5回行きますけれども、その度に、隣接町の理事から「松山さん何だや、過疎・過疎」頭が痛い、でもこれは、我々言われるまでもなく、町民の意識が一番不足しているのではないか。意識を持ったからどう出来るのか分からない。だけど、これ以上過疎化が進んだら、本当に城下町として存続出来るのか。とか、せつかく社会資源があるのに、城下町と言う伝統が有るのに、これは、何度も言うようにお金では買えない。私は、古い自然に恵まれた城下町が大好きですので、この伝統ある城下町を小さくてもいいから、未来永劫城下町として存続して欲しいと心から願っております。そういう残すための手立て、それはやはり調査、他の全国にいっぱい有ると思うのですが、大きいところは比較出来ませんので、小さな似たような規模の小さい所がどのように存続しているのか、出来れば調査費用をして、それからみんなに町民に知らせて、これでいいのか、無くなってもいいのか、今のところをシュミレーションして、将来このままどうなりますよという事をさせれば、例えば我々行政職だった時に、みなさん買い物をする時は、町内からといった事を強制は出来ないけれども、そういう意識を持っていました。何も縛りが無いとどうしても利便性に走ってしまいます。そ

の結果、町の存続が無くなるのではないか、そこまで困窮しているのではないか、私もいつも他町村の人から言われて、本当に胸が痛くなります。これは自分たちの問題なのだ。今我々は運転出来るので買い物難民になってはいないけれども、いずれは商店がまったく無くなれば、そういう難民になる可能性は有る訳ですし、出来ればこの宝で未来永劫残していくために町民としてどうすべきか、という事は本格的に考える時期に来ているのではないかと思います。

- 小田会長 ご意見として記憶にとどめて頂きたいと思います。他に、小松委員。
- 小松委員 2～3日前の山新に酒田市合併10年の掲載有りました。この協議会で話し合っ、ここで一番心配されているのは、やはり子どもたちの教育です。学力向上で、教育力向上・学力改善と言う事が大きく取り上げられていました。中でも松山町が人口減少で統廃合が著しくてという様な事が書いて有りました。私とても心配しているというか、何とかしたいと思うのは子どもたちの教育ですね。学校教育は、はた違いと言いますか、こういう事を行ったのです。5～6年前に里仁館の一つの教室を借りまして、週一回子どもたちに科学教室、科学と遊びでやりました。最初10人位いて、それがだんだん生徒数が少なくなって、地見興屋からも内郷からも来たのです。そこでやっていました。先生は、高専の名誉教授で終了した土田さん、それから遠藤さんとか、おのおのの会長さんとか、山岳の方とか、私たちは、遊ばせてたり工作を作らせたりとかやったのですが、だんだん減っていく生徒数減少とともにスポ少に2年生から入るのですね。1年生で楽しく来た子どもたちもそちらに行ってしまう。スポーツ少年団に行ってしまう。それからもちろん学童にも行く。そうするとそうした自主的な教育の動き大人側の手を差し伸べようとする事がなかなか実現して行かなくなる。本当にこれは、私はスポ少が毎日毎日しょっちゅう日曜日に試合がある。全国大会行くからといって学校行事を変えざるを得ない時も私には有りました。そういうスポ少が悪い訳ではないのですが、非常にそうした自主的な教育活動が、なかなかスポ少に押されています。スポ少は一生懸命やる訳です。監督がいてケガさせないように技術が上がるようにやってくれます。そこへ親は預けたいです。送り迎えをしてまで、科学教室なんかには、子どもの教室には行かなくていいと、子どももスポ少のほうが楽しいとそうする事と本当にそうした事に目を向ける。松山というのは本当に優秀な人が出ている町なのですよね。村山さんも色々おっしゃいますが、そういう伝統が有るのです。一生懸命やる子どもたちも多いです。大人もそうです。優秀なのです。そういう伝統が、この中みると私は何も知らないで来ているのですが、地域づくりというのがすなわち交通の便であったり、建物の老朽化をどうするかだったりしますけれど、

中身のこれからこの町を背負って立っていく、または酒田市を背負っていく子どもたちを、もっと良く育てたいという本当に力強く、本当にこの地域を愛して、どこへ行ってもいいのだけれども、本当の学力をつけて、生き生きとした暮らしをして欲しいと思うのです。ここに優秀な方々がいるので、夏休みとか、冬休みとか、土日とか、塾とは言わないけれども、先生たちが集まって、大人も集まって、子どもと遊んだり科学的な事をするようなプログラム、私も忙しくて手が回らないのですが、そうしたことも地域の協議会というものの中的一个として、話し合っていきたいなという気がします。人材はいます。酒田市内も同じだと思います。やめた先生達がそういう事をやろうかなと言うのだが、中々やれないです。場所もいっぱいあるのに、そうしたことでコミセンとタイアップして、何かをしたいと応援する体制が欲しいと思います。お金はそう掛からない訳です。やれる人がやって来る人100円も持ってくれば実験道具も出来る訳です。そういう事を皆さんに分かって欲しいなという気がするのです。

小田会長 只今の話は大きい話でして、今の議題討議している内容からもっと大きい話になっていますけれども、未来に伝える松山の宝この項目に入るか今の過疎計画の原案が示されましてけれども補足の中に何らかの形で入れるものなのかご意見。

地域振興調整監 小松委員から大変重要なご提案を頂きましたので、この事を松山地域の中で過疎地域の事業計画の中で組めるのか、あるいは、宝事業なりNPOの事業でタイアップして出来るのか、色々これから検討していきたいと思えますし、また地域に帰って来て活躍して頂く人材を、やはりどう育てるのかという事も大きな課題でございまして、少子化対策の一環としては、教育委員会でも地域スクール・地域の歴史を学ぶという様な事業も取り組み始めておりますので、その関連でも何かご提案頂いたような内容を取り組めるのではないかなと思いますので、今の意見を持ち帰って色々検討してみたいと思っています。

小松委員 人材は居ると言う事で、ありがとうございます。

小田会長 他に何か有りませんか。小野委員。

小野委員 酒田市の過疎地域の自立促進計画、すばらしい計画が出来ている訳ですから、今までやってきた中で、それぞれ総括してハード面、ソフト面を含めて今後につなげて頂きたいと思えます。当面するハード面では、3校が統合と言う事で小学校が決まった訳ですよね。それについて施設管理上で道路の改修が発生しないか調査して頂きたい。また、飛鳥中学校に石名坂は冬季間スクールバスの利用を私は主張したのです。街路灯は当然ついていると思えますが、子どもたちが安心して地域内を移動出来るようにして頂きたいと思えます。も

う少しチェックして頂いて不備の所は設置するなりお願いしたいと思いません。庄内北部自立圏が4月に発足しました。定住圏が、松山地区は庄内町と接していますので今後どうしても生活をして行く上では自治体の垣根を越えた事が当然出て来ると思います。今日の新聞では、幼児病後育児、女性が仕事をしながら子どもを見ることは大変なことです。女性が働くと言う事をどのようなフォローしていくのか。今、余目の保育園も民間になって、今後お互いに酒田市と双方向で預ける事が出来るという事で、今日出ていましたね。その点も今までに無い事が、地域住民にとって利用しやすく安心して住めるという点でも、位置付をして過疎対策で十分お願いしたいなと思います。この計画が5年間延長になるという事は大地震の関係が大きい訳ですから、私も生活していて、東日本の大地震の教訓は色々あると思うのです。その辺も反映させて貰いたいなというように思います。私も昨年度、水道のモニターになって重点施設までの管理については、水道事業は別経営なのですが、その辺も実際そういう事が起きると酒田市、市としての役割になる訳です。水道事業との連携を組んでもらえればと思います。また、私は今まで3年間、花いっぱい運動を取り組んで来て一つ教訓としては大変です。他の地区を見ても空き地になって荒れています。是非、一年草だけでは無くても多年草を取り入れた内容でこの地区のお年寄りさんが、管理出来るような方向に持って行ってほしいと思います。多年草で住み分けをして、行った方が良く思います。地域でいきいき暮らすには、そういう手入れなんかも、高齢者がしてくれれば理想的なのですが、そうもいかない場面もあります、一年草多年草の住み分けをしながら酒田市がきれいになっていく、荒廃しないというような方向に持って行って貰いたいと思います。これは意見です。

小田会長 他にございませんか。はい。

日下部委員 日下部です。9月の27日に、今年初めてクラフト店という催しをやったのですが、私も商工会の役員として参加しました。その時に、2日間で4,500人位の延べ人数がいらしたという事でした。そういう感じでその中には、城址館に来てもっと見る所は無いかとか、もっと回りたいのですがとか、食べ物おいしい所はどこですかとかそういう色々な、秋田ナンバーの方とか山形ナンバーの方とか色々な方がいらっしやっただの事でした。駐車場の整理をやっていた方がそういう風におっしゃっていたのですが、そう言うのを考えると、先程、後藤委員がおっしゃったように、さんさんまでの一本道の所にもっと、今、小野委員がおっしゃったように一年草では無くても多年草でとか、たいして手入れをしなくても毎年花が咲くような、そういう色々な砂山公園とか、その辺を整備して頂いて、花を中心に、そういう感じの場所が有るとすごくいいのかなと思いました。私たちが、飯豊のどんでん平ゆり園

に行くとか、そういう風な感じで結構皆さんが、観光に関しては、遠出までして色々なところに行かれますので、その辺のせつかく他町村から来る人たちのためにも、少し整備して頂くのがいいのかなと思いました。以上です。

小田会長 ご意見として伺っておくことにしましょう。時間若干経過しましたので45分まで休憩致します。

～休憩～

小田会長 再開致します。過疎自立計画、過疎計画については、他にご意見ございませんか。はい、荘司委員。

荘司委員 今中学生が自転車で通学している道路についてですが、小見から石名坂の橋のところ、川沿いのところをずっと子どもたち自転車で通っているのですが、今の時期すごく暗いのです。なのでその照明をもっと増やすという事を計画の中に入れて頂けないものでしょうか。

後藤(吉)委員 関連していいですか。

小田会長 はい、荘司委員いいですか。

荘司委員 はい。

後藤(吉)委員 LEDの発達で、一般灯については国内生産がもう限界にきているという話も聞いております。そういった中で、今ありました防犯灯・街路灯の関係、酒田市全体での議論になるのだらうと思えますけれども、今回の過疎計画、あるいは種々の計画の中で、間に合う様な形での議論になるのかどうか、タイミングとしては、財源等の事も有りますので、ちょっと急ぐ必要があるのかなというふうに思っています。関連しての質問です。

地域振興調整監 今の防犯灯の件なのですが、今、後藤委員からお話があったように、市全体として、防犯灯の有り方とか、更新のやり方等については、市民部の方で検討に入っているそうです。9月議会の一般質問の中で、議員さんからご質問がありました。根本的な有り方を検討してみたというような答弁を市民部長もしておりますので、そんなに長い期間は、たぶんかからないだろうと思いますが、これまで無かった検討に入るのだなという印象を私も持ちましたので、只今のご意見もまた伝えながら、鋭意進めさせて頂くようにしたいと思えますし、今の荘司委員から指摘を受けた箇所については、その箇所について、また持ち帰り教育委員会の方と検討させて頂きたいというふうに思えます。

小田会長 はい、他にございませんか。後藤委員。

後藤(吉)委員 いいですか関連無しで。未来に伝える松山の宝という資料を頂いていますけれども、過疎計画、この地域において有効に使える財源かと思えます。基本的に目指しているものは何かということからしますと、交流人口を増やすことによって、ここの元気を何とか活気づけていくという事が、根っこにある

のだろうと思っています。そういう意味では、眺海の森も交流人口の増と雇用の場の拡大という意味合いを持ちながら整備をした経過がございます。眺海の森には各施設がございますけれども、スポーツ文化課・農政課、それから観光物産課等々所管課が3つに分かれているという部分が、エリアとしての目的達成、行政の政策展開をまとめて行うという意味から中々うまくいかない部分の原因にあるのかなと感じを受けております。それからしますと、計画そのものでは無いのですが、所管課を含めて、何のためにこの政策を展開をするのか、何を目指しているのかという部分を併せて、行政の取り組みが集中的に展開されるような工夫というのが必要なのではないかと思います。それからもう一つは、交流人口の部分で、お客さんとしてのターゲットを絞りこんだ計画を検討願いたい。もう少し魅力アップという点からして、東根にタントクルセンターと言うのがあり、酒田市でも中町でやっておりますけれども、子育て世代が行く場所というもの、子どもを安心して遊ばせる場所というのが、酒田市全体でも不足しているのかなというふうな議論をしているということですから、先程、後藤委員からもございましたけれども、魅力として松山中学校の体育館があり、校舎があり、松山体育館があり、里仁館がある。この魅力の部分で、子育て支援、比較的似た層としましては、介護施設のレクリエーションというのが、年に各施設2～3回やっている訳ですので、そういった者が来やすい環境という部分も、新たな考え方の中に入れてもいいのかなというふうに思っております。あともう一つは、この地域、お宝も含めていうと、観光案内というのが計画の中にありますけれども、不足なのだろうと思います。この地域においておいでになった方が動けるような仕組みと申しますか、観光案内も含めて、トータル的な取り組みをして行きませんか、せっかくのお宝が生きて来ないという感じを受けております。事業として書いてはある部分だと思うのですが、発想面から施策を集中させていくというような事が必要なのではないかという形で提案させていただきます。

小田会長 はい、他にありませんか。佐藤委員。

佐藤(玲)委員 クラフト市の開催の時、ちょっと思ったのですが、駐車場までの駐車場周辺に行くまでの荒れ地というか、余りに草ボウボウな所が点在しすぎてびっくりしたので、そこら辺、何か荒れている所をよそから来た人に見られたかなというような感じがしたのですけど

小田会長 場所はつきりどこですか。

佐藤(玲)委員 新屋敷の辺りですけど、あともう一つです。そば祭りというのはどういう事なのか分からないので教えて頂きたい。

小田会長 はい、支所長。

支所長 今年のそば祭りですが、各そば組合で、まだチラシとかは出来ていませんが、

あとはイベントとして、寄席とセットに12月6日に予定しております。

小松委員 そば祭り、城址館ですか。

支所長 そば祭りです。実行委員会でNPO法人さんと一緒になって企画準備して
おる所です。

建設産業課長 はい、今のそば祭りの補足をします。松山管内のそばのグループさんが、内郷地区・山寺地区・南部地区とそれぞれ地区に有り、そばを栽培している皆さんのグループが有ります。内郷地区は内郷地区の人だけという訳ではないのですが、おおざっぱに言って、そういう組分けがございますので、それぞれ3つのそばグループさんに声かけをしまして、合同で松山地区、今までやったことが無いものですから、今年度そういう形をやりたいという思いで提案申しあげまして、3つの組合の皆さんからは、一応その方向での考え方でご理解頂いた。準備するのは、1グループ150食位、合わせて450食程度位は原案をもとに提案申し上げました。最終的に地域のやるとなると、そばを打ってゆでて、提供できる人の確保が出来るか出来ないか、という事で地域ごとに条件が有りますので、最終的な確認をしながら、ということになります。場所は3つの場所でやろうということです。山寺地区は山寺コミセン、あとは南部地区は、ちょっと遠いものですから改善センターを会場にしたい。内郷地区は、松嶺コミセンになるか内郷のコミセンか、その辺、皆さんから食べ歩きをしてもらおうという思いで、ターゲットは松山の方ではなくて、基本的には松山以外の方をターゲットにしたいなという思いを強く、松山の方が駄目だという訳ではございませんが、そういう思いで松山にはこういうそばが有るのだよという事をPRするような活動をしていきたいという取り組みも先程言ったとおり娯楽も兼ねた取り組みの中でやる方向で準備を進めています。以上です。

小田会長 過疎計画に戻します。はい、平向委員。

平向委員 資料1の6ページ児童福祉施設の中に、学童保育整備事業が載っている訳ですけれどもこれも、今後5年間引き継ぐという事でございます。当地区の学童保育所は、地見小も含めてバス等で通っている訳ですけれども、松山小学校さんは多分歩いて行くのだと思いますけれども、学校が統合になるという丁度この5年間のタイミングでございます。普通であれば、学校の近くに学童保育所があるというのが常であります。今後、そういった学童保育の松山部分については、全地域で取り組むという様な事になっています。全地域と言っても過疎ですから、松山・平田・八幡しかない訳ですけれども、3地区でやっていきますよというような結論付けた考えがとれますね。支所としてどういう考え方を持っているのか、また、今後無いとすれば統合が近づいていきますので、一緒にスタートできるような形で、学童保育についても十分な事

業展開をして行くように要望したい。今分かる範囲内で答え出来るものであればお答え頂きたい。

小田会長 現段階で分かりますか。

支所長 一応、学童保育が年々少なくなっているようですけど、一応継続はして行きます。それぞれの地域の意向もあると思いますが、基本的に継続はして統合して行くという考えです。

平向委員 施設の方ですよ。

支所長 健康福祉センターの所という事で考えています。

小田会長 統合して

支所長 そういうふうには、考えています。

平向委員 出来れば近くにあった方が良いのかなという提案です。

小田会長 現段階はそのような状況です。それでは、時間も経過しておりますので、次の議題に入ります。新市計画の変更について

小野委員 会長待って下さい。今、平向委員のおっしゃった学童施設は、そういう予定と言われましたが再検討するよう願います。やはり普通であればそばに有りますよね。

小田会長 今、それを支所長が

小野委員 そういう予定だけでも、それをさらに改善する余地は無いのかという事で委員からあった訳ですから、それを検討するのか、それとも今の健康センターでしようがないと言うのか検討して頂きたいと思います。やはり保護者にとっては、重要な訳です。毎日の事なので。

支所長 私の方では、今のところは別に移すとかという考え方は持っていません。

地域振興調整監 決定では無いのですが、現状としてはそういう考えだという事になります。

小野委員 統合したらその辺も改善できるようにして頂きたいと思います。

地域振興調整監 今意見を頂戴しましたのでそれを受けて検討させて頂いて。

後藤(吉)委員 関連しまして、今酒田市としては公共施設の見直しをやっている訳ですけども、何ではかっているかと言うと、利用率だと思うのです。今、バスで運んでいる部分がどの範囲なのか承知していませんけれども、施設利用も含めて言うと、学童保育を外しちゃうと、施設の利用率が大変なのかなというように思いがしています。子どもたちが元気に遊ぶ姿が有るという事からも、今の場所でもいいのかという意見を持っています。

小田会長 はい、調整監。

地域振興調整監 健康福祉センターでは無くて、正確な段階では無いのですが、知っている範囲で、学童保育も子どもたちが減っているのですが、学童保育に入所される子どもたちは年々増えております。これは、酒田市全体でございます。ただ今色々な事情があつて施設を建て直している所は、市街地ですと学校のそ

ばに建てるようにしているようでございますが、それ以前も少し離れた場所にあったりしている所がありました。ただ、やはり学校が統合になって、一か所という所でいう場合には、学校のそばで本当にいいのか。そこそこの事情に合わせて考えていかなければならない問題ではなのかなと思っておりますので、その辺も今日のご意見を頂戴しながら報告したいと思っております。

小田会長 はい。（３）新市建設計画の変更について

地域振興調整監 ～資料に基づき説明～

小田会長 現段階では、今の資料３の内容でございますが、次回まで具体的な内容が出て来ると言う事で

地域振興調整監 次回は新旧対照表の計画で変わるのは、真ん中の序論の部分の計画期間が替わるという内容のご提案をさせるという事で、同時に実際はこの文言にあるような部分の修正と含めて提案という形になりますが、中身的には計画期間の延長というところですので、ご理解頂きたいというふうな事です。

小田会長 一応（３）ご質問等ございませんか。内容ですので４番に移しまして頂きます。２８年度の予算要求内容について。支所長

支所長 ～資料に基づき説明～

小田会長 只今の説明でご意見ご質問ございませんか。ご理解いただきましたか。はい、後藤委員。

後藤(吉)委員 地域の中に誘導表示ございますけれども、ちょうど大手橋のところに、「小規模多機能施設眺海」という表記が電柱に掛けてあります。が、「眺海の森」が向こうかなと思われる部分だろうと思うのです。それが一つと、眺海の森に誘導があり上がれるのですが、帰ろうとした時に案内がまったくないのです。新庄方面、どちらに行くか案内が無い。秋田方面が無い。町から出られないという仕組みを作っているというところがあるかと思っております。関連あるかと思っておりますので、一緒に考えて頂いて如何かなと思っております。

小田会長 はい。

建設産業課長 松山管内における観光客の皆さん向けの観光看板等の不足という面で、先程後藤委員から大手橋の眺海の施設がというお話が有りました。市としましても、観光振興課と観光をつかさどる課とのやり取りの中で、今年度中に大手橋の部分に、眺海の森方向に新たな看板を付けたい。それから上茗ヶ沢から登る部分に、ふれあい支援農道という立派な道路が有りますが、あれを利用して頂きたいという事も考えるのですが、それも案内看板が全く無いものから、どう行くのか分からないという事もございますので、相沢の競馬場さんの所から眺海の森に誘導するような、ふれあい支援農道を通って頂くような看板の誘導もやりたいという事で、今、観光振興課とやり取りをしながら対応を検討しておりますので、それですべて対応するという訳では有りま

せんが、今よりも何とかそういう面での改善も図っていきたいという取り組みも行いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

後藤(吉)委員 その時に、帰るといふ事も考へ、誘導を考へて頂ければと思ひます。

小田会長 ついでに真学寺さんの所だとか若干説明しづらいです。総光寺さんは分かるのです。同じ様なことで何か方法を考へて欲しいなと思ひます。はい、五十嵐委員。

五十嵐委員 松山音頭で体操をせつかく良い体操が出来てみなさん覚えているとは思ひますが、12時とか5時のチャイムの時に松山音頭流してもらって住民が身体を動かせるようなそういうことは出来ないでしょうか。

支所長 そういう話を聞いていますけれども、一つは経費的に今の機械が古いといふ事で、全部変えなくてはならないのだそうです。あとは流す時間帯、年がら年中新松山音頭、話題にはなるのだと思ひますけれども、皆さん方の同意が得られるかどうかその辺が問題かと思ひます。

小田会長 せつかくの機会ですので、28年度の予算要求外の事でも結構ですので発言

後藤(吉)委員 松岡さんの火災といふ、大変大きな火災がございました。そこで感じた部分なのですが、一つは、十三間堀が水利として非常に利用された。山地排水を十三間堀に入れている訳ですけれども、通常ですと、十三間堀だけでなく、内町の方にも流れる工夫をしています。もう一つは、用水で無くなりつつありますので、山地排水が、管理する人たちが誰もいない。今回は、十三間堀に水利取られてはいけないといふ事で、地域の方々がごみを取って、上からずうっと水が流れるような手配をしてくれたといふ事でした。それを含めて山地排水の対策、普段ですとちよろちよろ流れるだけで、災害にもつながらないのですけれども、集中的に雨が降りますと山地排水の処理と言ひますか、うまく流す工夫をしておきませんと災害につながっていくといふ事もございます。普段ですとなかなか気がつかないのですが、行政として管理といふ面での配慮を頂ければ有難いなど。それからもう一つなのですが、これはちょっとなかなか難しいかなと思ひますが、防火貯水槽、新しい防火貯水槽、松山地区もそうなのですが、水道から水が入って来る仕組みにはなっておりません。水道が企業会計でやっているといふ事も背景には有るのだと思ひますが、今の酒田市の考へ方は、防火貯水槽の水については、ポンプ車で補給をするといふ考へ方に立っている訳です。この間もそうなのですが、一般住宅が少し集中して火災になった場合、十三間堀が無かった場合、はたして防火貯水槽だけで水利が足りるのか。計画的にはやっておると思ひますが、それからすると何らかの規定を設けることによつて、例えばメーターを付けて防火貯水槽に水が水道から入るといふ考へ方も、検討していいのではないかなと思ひますので提案させて頂きます。

小田会長 今回の大火災に関してのご意見賜りましたけども、他にございませんか。はい、支所長。

支所長 酒田大火以来の大規模な火事だという事です。鎮火が翌日の8時過ぎ頃だという事から、消防団の反省会で会議をやっているようですけども、一番は工場火災と言う事で、初めてのケースだという事で近隣住民の方々はだいぶ迷惑掛かったと思います。消防の貯水槽につきましては、水道から水を変えて頂きたいという事で色々な要望があります。有蓋化のこともについても、計画的に進めているところですが、なかなか場所によっては進んでいないのが現状だと言う事なものですから、この前の火災が一番教訓と言う事で、その水路の部分につきましても教訓になったと思います。所管課、消防署、担当警防課との課題の共有が出来るかなと思います。以上です。

小田会長 建設産業課長

建設産業課長 山地排水の関連のお話させていただきますが、旧町時代でありますと、山地排水と言いますか道路に面しない水路の整備につきましても事業と言う大変有難い事業が有りました。現在そういう事業もございません。そうしますと、それを市の方でやって下さいということになりますと、市の単独事業でやるという方向性も定まっておられません。現在、地域の水路の整備をしてくださいという要望の際に活用しますが小規模土地改良事業という事業で地元負担ありの事業が農林サイドの事業としてはございます。そういうものを活用しながら地域負担も伴いますがこういう形での整備という対応もお願いしながら整備して行かざるを得ないという状況になるかと思っておりますのでよろしくをお願いします。

後藤(吉)委員 用水が非常に少なくなっている中での土地改良事業で取り組むのは、ちょっと厳しいと思いますよ。要するに権利者がいない訳だからその中で山地排水を考えなければならない。いわゆる完全に災害対策な訳なのでですからそれでやるしかない。

小田会長 只今のご意見。

建設産業課長 災害と通常の場合と市の負担部分がまた違いますので、そういう事業を活用しながら、現状としてはやらざるを得ないのかなと思っています。

小田会長 三浦委員何かございませんか。

三浦委員 皆様のご意見を聞いているばかりなのですが、話戻りましてもいいですか。

小田会長 はい、その他でもなんでもいいです。

三浦委員 小松先生からの子どもの地域教育と申しますかそういう話を聞いていたけれど、人数少なくなって29年度から統合になると、三小が統合になってという話が有りましたけれど、子どもたちにとって保育園で一緒に遊んだと申しますか勉強した子たちが一緒になるというのは、私はスムーズでいい

のではないかなと、それは大賛成なのですが、一つだけ今月の18日から21日までの内郷小学校が、コミセンで通学合宿というのをやっているのですね。今年も実際10年目ですか、来年28年度は出来るのですが、29年度以降、三小まとまった時点で、これどうしたらいいのかなと今大変悩んでいる所なのですが、それも含めまして、通学合宿3泊4日でコミセンに泊って学校に通って、またコミセンに戻って食事を作って、共同生活するとなかなか5年生6年生対象なのですが、5年生の時に来た子は6年生で翌年に来てお兄さんお姉さんになって、結構指導力を発揮すると、そんな事でまあ参加したい人は希望だけなのですが、スポ少に行き帰りはコミセンに来ると、練習した後やはり楽しんで子どもたちが過ごしているのでこれを29年度から何かそれに代わるといいますかそれに似たような形が、どんな形でやれば良いのかなと色々みんなで知恵を巡らせている。出来れば継続して行きたいなという事です。

小松委員 夜は勉強会ですね。

三浦委員 勉強会、反省会になりすね。

小田会長 新市学校の建設の計画の中に取り入れて意見として取り入れてというふう
に、学校運営経営するかこれからの課題だと思いますので、それぞれ学校単位でやっている事、それから地域で子ども教育やっている事それぞれ有ると思いますので、今後の検討課題だというふうに思いますけれども、はい、小野委員。

小野委員 関連して地見興屋においても通学合宿もやっています。その他に色々体験学習という事で地見っ子ふれあい事業、また小松ノリ子先生から来て頂いて色々な読み聞かせをやったりしていますので、やはり三校それぞれに色々な、いい面があると思います。会長がおっしゃったように、そのいい面をいかに統合校に引き継いでいくかという事、これは当然内部の中で検討をして、子どもたちが戸惑わないよう、子どもたちのためになるというような体制を取っていく必要があると思います。

小松委員 賛成

小田会長 現段階では、11月10日にご案内差し上げてあると思いますけれども、統合検討委員会、内容の具体的に入る予定ですのでその説よろしく願いいたします。佐藤委員。

佐藤(豊)委員 別にありません。

小田会長 齋藤委員。

齋藤委員 さっきから聞いておまして色々勉強になりますけれども、一応先程の表示、誘導表示ですけれども、山寺の多目的公園にスポ少とか、結構、大会とかで入るんですよ。すると狭くて入って来るものすごく渋滞するのですよ。

一番ひどい所は、伝兵前通り、帰り広いので入って来るんですよね。すると急に詰まるんですよ。そういうところもありますので、あそこもなるべく通らないように、何か表示して頂きたいなと思っております。それから今松山小学校で見守り隊やっていますけれども、山寺というのは昔からですが狭いのです道路が、その中で電柱が有るのですよね。あの電柱はなかなか、雨降りなんか傘をさすと人が側溝の電柱の真ん中を通るんですけども、子どもたちも傘をさすとどうしても駄目なものですから車道の方にどうしても入って来るんです。すごく危ないのですが、中々あれをどうするという事は言われなくても、何とか移してもらえれば、電柱を移してもらえれば有難いなと思っております。あとそれから、山寺コミセンでも昆虫の森というのをやっています。それで蛍とかカブト虫、蛍の場合、今年も夜やって結構多くの子どもさんと父兄さんが来ましてずっと回ってきました。あと、昆虫のカブト虫の知っている人は来るのですがまだ知らない人もいますので、一応山寺コミセンとして事業としてやっていますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

小田会長 以上ですか。他にございせんか。はい、小野委員。

小野委員 私も認知症には、なりたくないと思ひますが、認知症が増えると言う事で、酒田市の八幡地区で認知症の見回り対策としてITを使っているようですね。その情報を分かれば教えてもらひたい。もし分からなければ次回でも結構です。家族にとっては非常に大きな問題になりますのでよろしくお願ひします。

地域振興調整監 知っている範囲ですが、八幡の所で実施をしているのは、ペンダント風のものをお年寄りにつけてもらって、それで徘徊とかそういう電波を感知するものを置いてもらって、そこを通過すると自動的に家族の方のスマートフォン携帯に連絡が行く仕組みなのですけれども、やはり問題としてはエリアとして細かく、そういう設備が出来れば網羅出来るのですが、今まだ実験段階なので、協力して頂く所も含めて、ちょっと間隔が空くので実際どの程度効果が有るのか今実験中だと思ひます。

小田会長 地域追跡、都会では導入していますけれども、私ごとで大変恐縮なんですけれども、昨日、兄貴が来て埼玉に住んでいるのです。今日先程帰って行ったので、時間すれすれになったのですが、一週間に2度防災無線で個人の承諾を得ながら捜索、心当たりの方は警察・市役所にご連絡くださいというような、一週間に2回これが一人で無いんだって、だからそういう人を一回そういう人になった場合は、自宅にいる限りGPSで何処にいるか付けてもらうという内容でした。この辺はそこまでいっていませんけれども、だいたいそういう患者がいるとなると管理面で考えなければならぬ時代に入ってきて

いるのかなというふうに思います。他にありませんか。私からは1点若干申し上げたいと思うのですが、今日の会議を契機にしてでは無いのですが、この前の火災、やはり市民に防災意識の高揚、もう一度はかるべきではないかなというふうに考えます。それからそれと同時に、ああいう火災で、松岡独自のいわゆる文化財的なものを全部消失してしまった訳です。これは企業の理解も得なければならないことだと思いますけれども、松山の文化財、これをもう一度調査し直して、継続的に管理までは出来ないと思うにですが、個人所有の物なんかを一堂に集めて、見学するとかそういう企画をやらないと、登録しておかないと松岡さんの場合は、2階の応接室の押し入れにあった物全部焼けてしまいました。松岡の歴史がそこにあったと思うのですが、総光寺であれ、宝蔵寺であれ、古い建物には必ずそういった物があると思うので、是非登録制度をして頂いて、保管の有り方を検討して頂きたい。城下町のいわゆるそういった貴重な財産は、焼けてしまうとあと無くなってしまふのは当たり前なことなので、是非そういったことを地域みんなで知恵を出し合いながら保存して頂きたいなというふうに考えます。それから1点ですが、この前の火災の際やはり地元の消防団大変苦勞したように考えております。あの位の規模の建物が焼けるという想像、誰もがしていた訳では無いんですけども、大型車ポンプ車いわゆる上から水をかけるようなそういうポンプが入れない所に工場があったという事、それから設備関係ではホース等が古くて、漏って漏ってしょうが無いとうような状況、道路の狭さと、それから消火に使用する道具の古さ、こういった物はどこかで見直しておかないといざという時に、さっきも話しましたが、総光寺が火事になったら、何本ホース必要なんだという位の防災管理意識をやはり持つべきではないかなというふうに個人的に思っています。みなさんどう思うか分かりませんが、せつかくの歴史的な地域でありますので、地域を大切にしながら新しい子どもたちにその知恵を授けて、活躍を願いたいものだというふうに思います。

日野委員 全く同感です。

小松委員 さっき午前中に、北町でその話をしました。健康教室で今回の火災で仲町が大変だった訳で、自治会長さんが元消防士だったので、どういう事が大切なのか、人命を守るにはどうしたらいいのかと、そういうのを講師を頼んでね。ちょっとお話を聞いたりだとかどういふ予防があるのかとか、炊き出しどうするかとか、そういうのも話し合ってきた。

小田会長 災いあって何とかと言いますので、酒田大火の場合も、起きた時は火災に集中して整備をしたと思うのですが、建物火災、最近地震が多いもので地球が活動期に入っていると蔵王山までおかしくなっているという内

容ですので、火災全体、地震だけでなく災害全体を見渡す仕組みも必要だなというふうを感じるこの頃です。時間も経過しましたのでこの辺で今日の会議終わりたいと思いますけれども、私の役目はこれまでです。

建設産業課長 私から皆さんに是非お願いした事、皆さんご存知の通り明日・明後日全国ねぎサミット2015 in 酒田という事がございます。国体記念体育館の建物の中及びその周辺外を会場にして全国から県内的には庄内のすべての市町村及び他の地区の市町村、県外につきましては東北山形以外の5県及び全国15県からねぎの参加みなさんが来てねぎサミットという形で、庄内で初めて東北で初めてでございますが第5回目になりますがそれが行われます。天候が非常に心配されますが、建物の中の部分外での部分約103のブースがございまして、色々なみなさん来られます是非2日間ありますのでこういう機会をはめったにございませぬので、是非参加頂ければ有難いと思っておりますのでよろしく申し上げます。

後藤(吉)委員 ブースには何があるんですか。

建設産業課長 ねぎ及び色々な物品販売とか食べ物から、行つての楽しみにして頂いて、細かい事は定かではありません。

佐藤(豊)委員 その事でしたら、うちの方でも酒田市の生産組合長連絡協会で焼きおにぎりのブースを出しておりますので是非ご利用ください。

5 その他

小田会長 支所長お願いします。

支所長 その他については特にありません。委員の皆さん何かありませんか、無ければこれで終わりたいと思います。

後藤(吉)委員 14日の高規格の開通式には是非皆さん来て下さいとっていました。

建設産業課長 先日事前の通行状況の説明会、自治会長さんあとは衛連の皆さんと老人クラブの皆さんにご案内を差し上げました。2回に分けて行いましたが、40人弱かな参加して頂き、国土交通省の担当課長さんの方から説明してもらいました。開通してしまうと歩けない所もあるので逆走しながらやってもらいました。信号付いたり松山街道からは今度、高速道路には真つすぐ行くようなルートになりましたけれど、余目から来る人は真つすぐ酒田市内に、今まで無い所に信号も付きますので最初は戸惑うかなと思いますが、間違わないように通行頂きますようお願いいたします。開通式は、新堀の新しく出来る所、今度松山に来る路線が47号線になる。今までの47号線が県道に格下げになって松山に来る分が47号と変わるそうです。

6 閉 会

支所長 それでは、11月3日からは芸術文化協会の松山支部の改善センターのほうで発表会あるようで、11月8日は松山産業フェアということで色々な行事

があるようです。是非皆さん来て頂ければと思います。それでは、長時間にわたって有難うございました。これで第3回の松山地域協議会を終わらせて頂きます。ご苦勞様でした。